

事業番号	08 04 34	事業改善シート（26年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	外来魚等食害防止対策事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	園芸畜産課	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	H15 ~		

1 事業の概要

目指す姿	ブラックバス、ブルーギル等の外来魚、カワウ等及びミンクによる漁業被害を軽減し、豊かな水産資源を維持する。
------	--

現状	<p>○外来魚： 県内30漁協のうち20漁協で、ため池では30%で息息が確認されており、魚食性強く、繁殖力も旺盛なため漁業や生態系に悪影響を及ぼしている。</p> <p>○カワウ： 平成7年以降飛来数が急増し、平成12年には県下の主な水域で確認されている。県内には毎年1,000羽程度飛来が確認されており、一日に300~500g魚を補食するため水産被害がある。</p> <p>○ミンク： 平成19年の調査で千曲川上流部の川沿いに広く分布していることを確認。一日に200g魚類等を補食する。北海道では広範囲に分布してしまったため、長野県においては手遅れにならぬよう分布拡大を食い止めたい。</p>
----	---

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 違法放流等により生息域が拡大した生物について、被害者である漁協等のみに負担を求めるのは適当でなく、県は駆除活動等の被害防止対策の推進を表明している(第2期長野県食と農業農村振興計画、生物多様性ながの県戦略、外来魚等食害防止対策事業実施要領)。
	県民との協働による実施：可能	

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)					
	漁業被害を低減するため、漁協等が行う外来魚等の駆除及び被害防除に要する経費を補助し、漁業被害の低減に努める。 ・外来魚 7団体 ・カワウ 9団体 ・ミンク 1団体					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H26実施内容	H25 (当初)	H26 (要求)	H26 (予算案)
	外来魚等食害防止対策推進事業	直接	外来魚等食害防止対策事業を推進するための経費	200	200	200
外来魚等食害防止対策事業	補助金	外来魚、カワウ及びミンクの駆除及び食害防止に要する経費補助(漁協等)	1,681	1,681	1,681	
合計			1,881	1,881	1,881	

事業コスト	区 分(単位:千円)		23年度	24年度	25年度	26要求	26予算案	成果目標の達成状況					
	予算額	前年度繰越						項目	H25末 (見込)	H26			H27 目標
		当初予算	2,332	2,099	1,881	1,881	1,881			目標	成果	達成状況	
		補正予算											
		合計(A)	2,332	2,099	1,881	1,881	1,881						
	Aの財源	国庫支出金						外来魚	8団体	7団体			
		県債						カワウ	8団体	9団体			
		その他						ミンク	2団体	1団体			
		一般財源	2,332	2,099	1,881	1,881	1,881						
	ト 決算	額(B)	2,317	2,076									
概算人件費	職員数(人)	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90							
	概算人件費(C)	7,432	7,432	7,432	7,432	7,432							
概算事業費(B(A)+C)		9,749	9,508	9,313	9,313	9,313							

指摘事項等への対応	(指摘事項等)	(対応)
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		

要求からの主な変更点	要求どおり
------------	-------